学校番号	T3005

平成31年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	4年次
使用教科書	高等学校　日本史A　新訂版　（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史は小中学校で学んでいることもあり、好きで得意な人も多いでしょう。
学び直しの観点から、基本的な重要事項を中心に授業をしますが、さらに深める部分も設けます。
視聴覚教材を多様しますので史実をビジュアルに理解できます。

2　学習の到達目標

近現代史の基礎的事項を理解し、知識として身につけます。
視聴覚教材を効果的に用います。それぞれの時代の映像を観ることで感覚的にも記憶します。
戦争に関するところは戦争のない平和な世界の構築について考察します。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	日本史に対する関心を高め、意欲的に学ぼうとする。	史実の理解を基礎に問題点の把握と考察ができ、自らの言葉で表現できる。	視聴覚教材や過去の新聞記事などの活用においてその情報を適切に選択し理解できる。	日本史の基礎的事項の理解と記憶が確実にできている。
評価方法	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	近代の日本と世界	○国際環境の変化と幕藩体制の動揺				○	d江戸時代後期の基礎的史実の理解	授業プリント 観察
5		○明治維新と近代国家の形成		○		○	d明治維新成功の要因も理解 d近代国家への改革がどのように進んだか理解する b問題点を理解する	授業プリント 定期考査 観察
6・7		○立憲政体の成立と国際的地位の向上		○		○	d自由民権運動と明治憲法の制定 b日清日露戦争の理解、韓国の植民地化の理解と問題点の把握と考察。	授業プリント 定期考査 観察
9・10	大戦期の世界と日本	○第一次世界大戦と日本			○	○	d大正デモクラシーの理解 c第一次世界大戦と国際関係の変化の理解 dヴェルサイユ体制と国際連盟の理解	授業プリント 定期考査 観察
11・12		○第二次世界大戦と日本	○		○	○	a満州事変と国際連盟脱退の背景と史実の理解 c二二六事件と日中戦争 d日独伊三国同盟と日部の対立 aアジア太平洋戦争の原因と経過、結果の理解と考察	授業プリント 定期考査 観察
1	戦後世界と日本	○戦後政治の動向と国際社会		○		○	d占領下の日本の理解 b日本国憲法の制定の理解 d大戦後の国際情勢と日本の理解と問題点の考察	授業プリント 観察
2		○経済発展と国民生活の変化		○		○	d55年体制の成立の理解 b安保の理解と問題点の考察 d高度経済成長の理解と問題点の考察	授業プリント 定期考査 観察

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている